

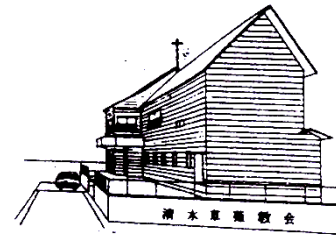
“わたしは福音を恥としない。それは、ユダヤ人をはじめ、ギリシヤ人にも、すべて信じる者に、救を得させる神の力である。(口語訳聖書、ロマ1:16)”というみ言葉があります。ようするに、こんなことだと思います。みんな、わたしが、イエスキリストは神の独り子であったのに、この世の悩みを、ご自身に背負われ、救いのためにこの世にやってこられたのだ。と言うと、また声を大きくして言えば言うほど、多くの人たちは、それを信じないために、私を愚か者だと言うでしょう。そういうなら、私は愚か者ということになる。おおいに結構、私は、その愚かだということを言えるのだから、その愚かさを誇ろう。こんな意味だと思います。今年のテーマは「よきおとずれをあなたに」です。実行委員会は、そうしようと願い、準備を進めてまいりました。その結果が今日結ばれることになるわけです。私たちが行く、讚美も祈りも、考え方によっては「愚かなことで、そんなこと誰も信じているわけではない」と受け取られかねないのは本当です。私たちも、愚かだと思われるのはいやなものですから、この部分だけは話さないでおこうと、心の中でいろいろと考えてしまうときがあるのではないのでしょうか。山のようにたくさん語って、「楽しく過ごしましょう♥」ということは言いますが、実に器用に、キリストの救いについてだけは話さないクリスマスを経験したことってないでしょうか？今日は神の救いについて、主が贖われたことについて、おおいに語る日でありたいと思います。教会が主催するクリスマスなのです。楽しいクリスマスをとわれている様々なイベントに勝って楽しいことをしようと思っても、私たちのスローガンである「よきおとずれをあなたに」という言葉を思い出したとたんに、自己矛盾に陥ることになりますし、教会不在で主催されるクリスマスのような財力も、演出する力も私たちには残念ながらないのです。今日は、キリスト教会について、信仰者にあたえられた救いと力、主の恵みについて、聖書について、大いに人々に誇る時としたいものです。実行委員会に集まる諸教会は、このように考えています。こんな話を聞いたことがあります。「昔は、教会はたのしい場所で近所の子供たちが、大勢集まっていた。それに比べ・・・」というまるで嘆きのような指摘です。「楽しいことやお勉強」は沢山提供したかもしれませんが、福音の二文字は、口を固く結んで語らなかつたのだ、と証明しているかのように感ずることがあります。今日、クリスマスに始めて来られた方、おおいに「よきおとずれ」について語りましょう、み言葉に聞きましよう。また、お願いします。救いについて語る信仰者に、救いとは何なのか、悩みと嘆きといさかいと、もろもろの、神ご自身が願っておられない事柄から、人はなぜ、どうして救われるのか、お尋ねください。キリスト教について思われたことをアンケートにしてお知らせください。

第23回清水市民クリスマス実行委員長 村上 定幸

市民クリ
スマスの
プログラ
ムから

週報

2008年 12月 14日



伝えよう 救い主を
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

教会学校	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル会の会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈祷会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	http://kusanagi.church.jp/	

〒424-0885

静岡市清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp